

# 学校自己評価表

平成 30 年 6 月 1 日 作成

学校法人セムイ学園 東海医療工学専門学校  
評価対象期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

## 目 次

|      |                |   |       |            |    |
|------|----------------|---|-------|------------|----|
| 基準 1 | 教育理念・目的・育成人材像等 | 1 | 基準 7  | 学生の募集と受け入れ | 7  |
| 基準 2 | 学校運営           | 2 | 基準 8  | 財務         | 8  |
| 基準 3 | 教育活動           | 3 | 基準 9  | 法令等の遵守     | 9  |
| 基準 4 | 学修成果           | 4 | 基準 10 | 社会貢献       | 10 |
| 基準 5 | 学生支援           | 5 |       |            |    |
| 基準 6 | 教育環境           | 6 |       |            |    |

## 基準1 教育理念・目的・育成人材像

### 点検項目及び現状認識・評価等

| 番号                                 | 評価項目                                    | 評価 | 評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等   |
|------------------------------------|---|----|--|
| 1-1                                | 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか      | 4  | <p>《教育理念》<br/>人のいのちを守り、社会に貢献したいという強い信念を育てる</p> <p>《育成人材像》</p> <p>① 全国の公的組織（消防・警察・海上保安庁・自衛隊）に求められる優秀な救急救命士</p> <p>② 救急救命士として必要な知識と技術を学ぶ上で必要となる、言葉や表現、社会に関する基礎的学力を有する者</p> |
| 1-2                                | 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか     | 4  | 全国でも数少ない2年課程の救急救命士養成校であり、標準的な3年課程以上の教育カリキュラムに準じて、短期間で学習効率を最大限に高めるための就職対策・国家試験対策を計画的に実施する。  |
| 1-3                                | 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか        | 4  | 社会資源の有効活用の観点から消防機関に所属していない「非消防救急救命士」の社会的普及・活用を考慮した教育カリキュラムを今年度より編成していく。（例：セコム株式会社より特別講義開催予定）   |
| 1-4                                | 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか | 4  | 東海医療工学専門学校ホームページおよびパンフレット、(定期的な)ブログなどで社会的な普及啓発を図り、教員同士で最新情報（知識・技術）の更新を心掛ける   |
| [評価] ※ 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 |   |    |  |

### 根拠資料

1-1～1-4 一般社団法人 全国救急救命士教育施設協議会（Japan EMT School Association：JESA（ジェサ）） ホームページなど

## 基準2 学校運営

| 番号                                 | 評価項目   | 評価 | 評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等  |
|------------------------------------|--|----|---|
| 2-1                                | 人事、給与に関する規程等は整備されているか。                           | 3  | 整備されている。就業規則、諸規定は、学内サーバーの共有フォルダに保存されており、教職員が閲覧可能となっている。   |
| 2-2                                | 学校の目的・目標を達成するための事業計画が定められており、学校は事業計画に沿って運営されているか | 3  | 事業計画については、各校及び法人本部で作成し、評議員会及び理事会で意思決定されている。目標管理制度の定着化を図るため、管理職の研修を実施していく。   |
| 2-3                                | 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか                       | 4  | 運営組織は、組織図において明示している。法人全体の重要事項については、理事会・評議員会が組織され、意思決定を行っている。また、毎月経営会議を開催し、学校経営に係る事項や不定期に発生する重要事項について、意思決定がなされている。 |
| 2-4                                | 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか                         | 4  | 教育活動等の情報公開については、文部科学省の定めるガイドラインに基づき、学園のホームページにおいて情報公開に取り組んでいる。  |
| 2-5                                | 情報システム化等による業務の効率化が図られているか                        | 4  | サイボウズofficeを導入し、情報の可視化と共有、業務の効率化を図った。   |
| [評価] ※ 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 |  |    |   |

### 根拠資料

- ・セムイ学園ホームページ <http://www.tokai-med.ac.jp>
- ・H29年度 セムイ学園 事業計画

### 基準3 教育活動

| 番号   | 評価項目                                | 評価 | 評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等                                     |
|------|-------------------------------------|----|--|
| 3-1  | 教育目標・育成人材像は明確になっているか                | 4  | 指定規則、指導要領、救急救命士教育施設協議会の教育方針に準じ、明確化している。                                |
| 3-2  | 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか         | 4  | 平成29年度より職業実践教育課程となる。愛知医科大学病院より外部関係者による評価実施。                            |
| 3-3  | 教育課程は、適切に編成されているか(体系性)              | 4  | 1年次に基礎医学を中心とした教育、2年次に応用医学を中心とした教育カリキュラムを編成し、各教科の教育順序は内容を吟味し、順番を決定している。 |
| 3-4  | 各科目はカリキュラムの中で適当な位置付けをされているか         | 4  | 厚生労働省指定カリキュラムに準じ、適切と考えられる科目を教授している。                                    |
| 3-5  | 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか              | 4  | 成績評価・単位認定は担当講師の評価を基本とし、進級判定会議・卒業判定会議で厳格、公正に判断している。                     |
| 3-6  | 進級、卒業の基準は明確になっているか                  | 4  | 上記同様。  |
| 3-7  | 教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか | 3  | 年1回救急救命士教育施設協議会主催の教員研修会に参加し研修している。また、予算の許す限りスキルアップセミナーへの参加を奨励している。     |
| 3-8  | 授業評価の実施・評価体制はあるか                    | 3  | 年2回の学生からの授業アンケートを集計し、各科目にフィードバックしている。                                  |
| 3-9  | 授業評価が授業改善に活かされているか                  | 4  | 週1回の教務会議及び年2回の講師会議を行い、授業評価を考慮して授業改善に努めている。                             |
| 3-10 | 国家試験等の指導體制は確立されているか                 | 4  | 指定規則、指導要領、救急救命士教育施設協議会の教育方針に準じ、明確化している。                                |

[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

根拠となる規定、資料等：

#### 基準4 学修成果

| 番号  | 評価項目                                | 評価 | 評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等                         |
|-----|-------------------------------------|----|--|
| 4-1 | 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか | 3  | 救命士の主な就職先は消防官となるため、公務員試験対策、面接対策を実施している。                    |
| 4-2 | 中退率の低減が図られているか                      | 4  | 常に学科教員、職員が会議によって、学生個々の状況を把握しており、状況に応じた対応で、中退率は2%程度と少ない。    |
| 4-3 | 国家試験対策を推進し資格取得率の向上が図られたか            | 3  | 国家試験の難易度は年々上昇し、必修問題も高度化しており、対応に苦慮しているが、できる限りの補習、個別対応はしている。 |

[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

根拠となる規定、資料等：文部科学省における「学生の中途退学や休学等の状況について」の資料

## 基準5 学生支援

| 番号                             | 評価項目                       | 評価 | 評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等  |
|--------------------------------|----------------------------|----|---|
| 5-1                            | 進路・就職に関する支援体制は整備されているか。    | 4  | 就職サポートセンターを主体とした指導を図り、公務員試験に対応するための補習講義を定期的実施している。                                      |
| 5-2                            | 父母との連絡は密に行われているか(特に未成年の場合) | 4  | 年1回の保護者会を実施し、学生教育の実態を伝えている。成績及び出欠に関する資料を定期的に郵送し、重要視すべき案件では、基本的に問題点及び今後の指導方針を個別連絡で行っている。 |
| 5-3                            | 卒業生への支援体制はあるか              | 3  | 卒業後の就職支援はインターネット上における情報公開、国家試験は通信教育及び聴講生制度による不合格者への対応を行っている。                            |
| 5-4                            | 学生の生活指導・勉学指導がきちんと行われているか   | 4  | 問題点が明確化した段階で個別面談を行い、週1回の教務会議で教員同士による情報共有に努めている。   |
| [評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切 |                            |    |   |

**基準6 教育環境**

| 番号   | 評価項目                                | 評価 | 評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等                                       |
|--|-------------------------------------|----|--|
| 6-1  | 設備、機器・備品は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 3  | 学科からの修繕依頼、教育機器、機材購入要望書に基づいて、修繕、購入検討を行い、適宜新規の機具機材を購入し整備している。              |
| 6-2  | 防災に対する体制は整備されているか                   | 3  | 避難訓練は例年同様に問題なく行えた。<br>備蓄品の保管スペースの確保と、予算化を行い、緊急時の飲食料を1学年分確保した。備蓄充実を図っていく。 |
| <p>[評価] 4:適切    3:ほぼ適切    2. やや不適切    1. 不適切</p> |                                     |    |  |

## 基準7 学生の受け入れ募集

| 番号                               | 評価項目                              | 評価 | 評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等   |
|----------------------------------|-----------------------------------|----|--|
| 7-1                              | 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか | 4  | 過去3年間に入学実績のある高校282校を指定校とし、在校生の状況、卒業生の進路の報告を行った。  |
| 7-2                              | 学生募集活動は、適正に行われているか                | 4  | 時代のニーズに沿った多様な入学試験を実施している。<br>AO入試は書類審査（エントリーシート）と個人面接により判定を行っている。また希望者にはエントリーシートの添削の支援も行っている。②学校推薦入試、指定校推薦入試、社会人入試、一般入試においては小論文の採点基準を設け明確化し、判定している。また、一般入試の学力試験は科目の選択が可能になっている。<br>入学者の決済に関しては、学科長より校長へ決裁書の申請を行っている。 |
| 7-3                              | 学生募集において資格取得、就職状況等の情報は正確に伝えられているか | 4  | 国家試験合格率、就職（内定）率などの情報はホームページやパンフレットで情報提供を行っている。   |
| 7-4                              | 学生納付金は妥当なものとなっているか                | 4  | 近郊の養成校と比較して低い設定になっている。   |
| [評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 |                                   |    |  |

### 根拠資料

- ・学校案内、サポートブック、募集要項
- ・ホームページ



**基準8 財務**

| 番号                               | 評価項目                  | 評価 | 評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等   |
|----------------------------------|-----------------------|----|--|
| 8-1                              | 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか  | 3  | 歳入に対する人件費比率が高いため、給与及び賞与を見直し計画的に実行している。経費削減策などに取り組み、単年度黒字化を実現し中長期的に財務基盤の安定化を目指している。                       |
| 8-2                              | 予算・収支計画は有効かつ妥当なものか    | 3  | 予算、収支計画は前年度の執行状況及び、法人全体の状況を鑑みながら、法人本部にて調整し策定され理事会にて承認され実行している。期中に施行状況を関連部に公開している。                        |
| 8-3                              | 財務について会計監査が適正に行われているか | 4  | 公認会計士による会計検査を受け、適切な会計に努めている。会計監査については、法人本部の所管で公認会計士による外部監査、および監事による財務監査を実施しており、指摘事項があった場合は適切に是正措置を講じている。 |
| [評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 |                       |    |  |

**根拠資料**

- ・平成29年度 事業活動収支計算書

## 基準9 法令等の遵守

| 番号                               | 評価項目                          | 評価 | 評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等  |
|----------------------------------|-------------------------------|----|---|
| 9-1                              | 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4  | 養成施設自己点検表を活用して、教育、学則変更との手続き等を点検、改善をしている。内部監査要綱に基づき、内部監査を3回実施(臨時含む)した。監査結果が観察事項であった事項は、フォローアップを行い、是正状況の確認を行った。         |
| 9-2                              | 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか         | 4  | 建学の理念・目的、教育および管理・運営内容の全般について、自己点検・評価を実施し、改善を図っている。  |
| 9-3                              | 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか    | 4  | 情報セキュリティシステムを構築し、学内外の情報セキュリティの加害行為を抑止している。教職員の情報リテラシーを目的として、9月6日に全教職員を対象に情報セキュリティマネジメントに関する研修会を開催し、教職員の情報管理の意識向上を図った。 |
| [評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 |                               |    |   |

### 根拠資料

・ H29年度 事業報告書

## 基準10 社会貢献・地域貢献

| 番号                               | 評価項目                       | 評価 | 評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等  |
|----------------------------------|----------------------------|----|---|
| 10-1                             | 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか | 4  | 企業でのCPR講習、病院災害訓練、消防の要請による災害訓練等じっししている。                                      |
| 10-2                             | 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。    | 4  | いびがわマラソン、名古屋ウィメンズマラソンなどの競技活動時における救護支援など積極的に参加支援している。また、個別でもボランティア活動を支援している。 |
| [評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 |                            |    |   |